

令和元年度北方四島交流青少年受入事業実施結果概要

5月23日から5月28日の日程で北方四島在住ロシア人青少年等65名を神奈川県および北海道根室市で受け入れました。

青少年受入事業については大都市での実施方針のもと、今回は神奈川県での受入となりました。本事業のプログラムでは、主に「歴史学習」・「防災学習」・「日本人青少年たちとの交流」を実施しました。

「歴史学習」では神奈川県立歴史博物館にて、中世の日本の政治的中心地であった鎌倉や、19世紀に西洋の文明をいち早く取り入れた横浜について学習しました。また、鎌倉市を実際に訪れ、鎌倉大仏や鶴岡八幡宮等の重要文化財の見学を行いました。

「防災学習」では、北方四島在住ロシア人の地震に対する関心も高いことから、横浜市民防災センターにて地震体験シミュレーター等を通じ、過去実際に起こった地震を体験することにより、地震等の自然災害に対する日本の防災技術を学習しました。

「日本人青少年たちとの交流」では、地元中学校を訪問し、和紙の切り絵や習字体験などを通じて同世代の中学生たちとの交流を深めたほか、地元大学生およびロシア語を履修している大学生の協力によりグループ別に横浜市内の散策を行い、みなとみらい21地区や中華街等の見学を行いました。

その他、東京湾アクアライン・海ほたるを訪問し、日本の最先端建築技術について学習しました。

根室市においては、北海道立北方四島交流センター（ニ・ホ・ロ）にて「まとめの研修会」を行い、同施設内の見学や、元島民の講話等を行いました。

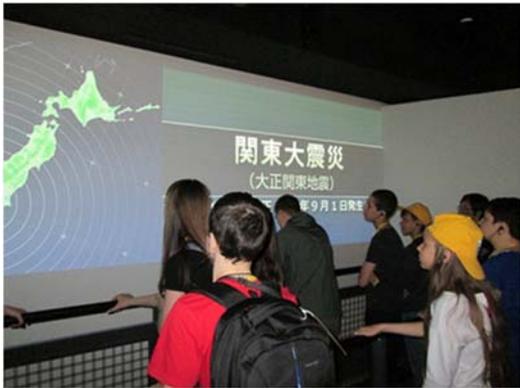
この受入事業での様々な体験・視察プログラムにより、北方四島在住ロシア人青少年たちが日本について更なる理解を深めただけでなく、日本人の大学生や中学生と出会い、多くの交流が生まれ、相互理解や友情が深まりました。



神奈川県立歴史博物館見学①



神奈川県立歴史博物館視察②



横浜市民防災センター見学



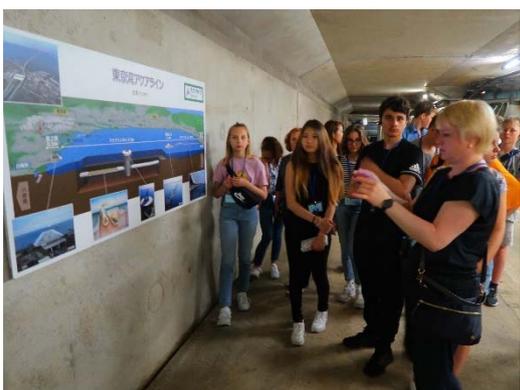
鎌倉市内視察



地元中学生との交流



地元大学生との交流



東京湾アクアライン・海ほたる見学



ニ・ホ・ロ まとめの研修会